

監修 東北大学教授
川島隆太

2024年度版

おの 夢と希望の教育

超スマート社会(Society5.0)を豊かに生きる力を育む
自立した未来をひらく人づくり

脳科学と教育

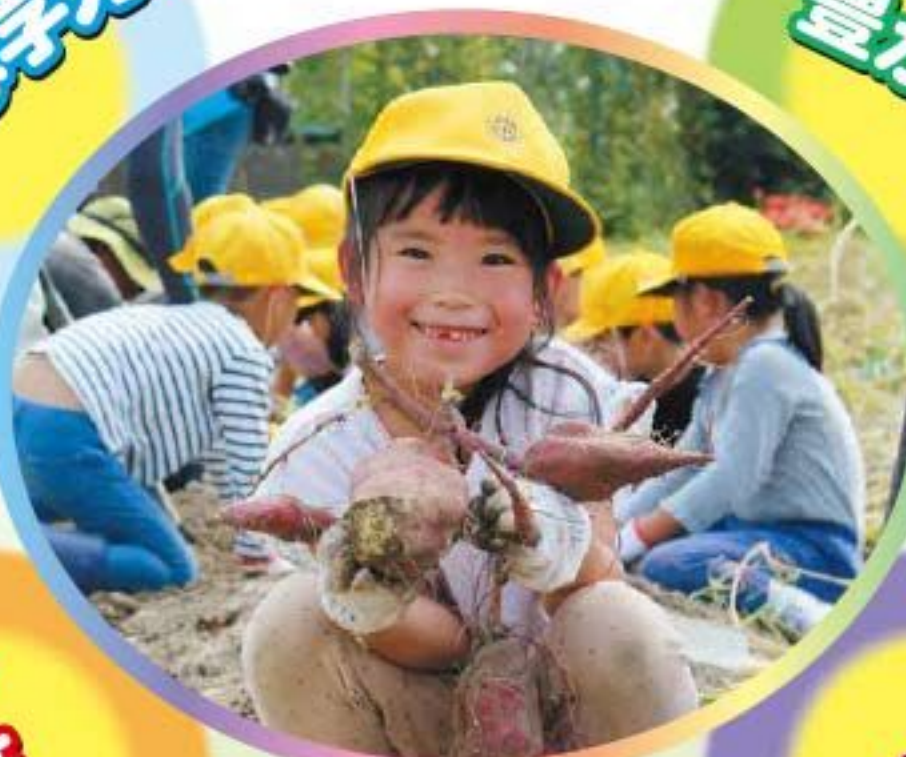
学びのつながりを重視し、「自立」を目指す小中一貫教育

確かな学力

豊かな心

あたたかな家庭

健やかな体



夢と希望の教育推進委員会
小野市教育委員会

驚き!

脳を育て、

Q2 心と脳は、関係あるって本当ですか？

A そうだよ。前頭前野の働きをみてごらん。心にも関係しているね。



ぜんとうよう
前頭葉

がんばる力

友達と仲良くする力

考える力

学ぶ力



がまんする力

集中する力

ものを覚える力

コミュニケーションする力

脳の
司令塔

ぜんとうぜんや
前頭前野

前頭前野を健康に育むことは、子どもたちを健全に育むことにつながります。

Q3 どうやって前頭前野を鍛えるのですか？

A 「読み・書き・計算」を毎日少しずつ継続的に取り組むことで、鍛えることができます。しかし、スマホとのつきあい方をまちがえると、せっかく鍛えても無駄になってしまうことがあります。毎日の習慣が大切です。



音読をしている時の脳の状態

赤くなっているところは、脳が活発に働いているところだよ。



計算する
スピード計算

書く
声に出しながら書く

手や指を使う
手や指を使った遊びや、料理・そろばん・楽器など

読む
声を出して読む

コミュニケーション
(話す・聞く)
家族や友だち、先生などと話す

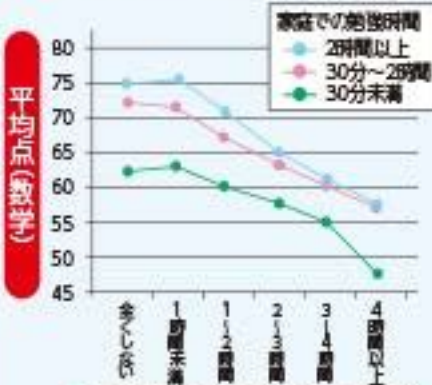
寝る
規則正しい生活のリズム

食べる
朝ご飯を食べる

読み聞かせや、読書・音読が効果的

スマホを使う時間が長い人の脳

青くなっているところは、脳がうまく育っていないところだよ。



テレビ・ゲーム・スマホは、1日1時間以内

家庭での勉強時間ごとのスマホ・ケイタイの使用時間と数学のテストの点数との関係

脳のひみつ 夢をかなえる

Q1 夢をかなえるために、何をすればいいですか？

夢をかなえる近道が4つあるんだよ

A

- ①前頭前野をモリモリ鍛える
- ②学校や家庭できちんと勉強する
- ③おうちの人と毎日話をする
- ④友達とともに学び、ともに遊ぶ

ぼくが研究してわかったことを伝えるね。



令和5年11月1日 第20回 川島隆太教授講演会より
小学校5年生児童対象 「体験型」講演会



※写真は、観音による脳の活性化の様子

- ・前頭前野の活性化をNIRS体験で実感（東北大学 川島隆太教授）
- ・脳の不思議を実感（京都大学 中村克樹教授）

第21回は
令和6年10月30日に行います。

前頭前野を元気にすると、夢にぐっと近づけるんだよ。



「脳科学と教育のまち」
小野市を応援します。

東北大学
川島 隆太 教授
平成17年10月24日
小野市教育行政顧問に就任

Q4 小野市では、どんなことをしていますか？

A

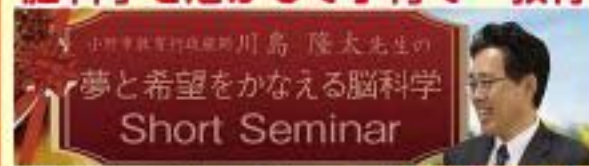
全国から注目を集めている「おの検定」をやっているよ。ぼくもShort Seminarで応援しているんだ。



今年も
10月30日に
小野市へ
行きます。

Short Seminar 発信

脳科学を活かして子育て・教育



◆夢と希望をかなえるポイントが、1回90秒程度で、分かりやすく説明されています。

YouTube 小野市チャンネルでどうぞ。

小野市川島教授プレゼント 検索 で検索

QRコードはこちら



おの検定

脳を鍛え
心を育てる

みんなで
チャレンジして
います。



視察・講演情報

- ◆青森県、秋田県、茨城県、千葉県、静岡県、長野県、石川県、富山県、福岡県 他 15件 計 118名



あたたかな家庭 (脳とコミュニケーション)

乳幼児期の発育には、親と子の「心と心」の通うコミュニケーションが重要ポイントです

1 乳児期 ドキドキ子育て

乳児期の脳の1日は、大人の1年より大きく成長します

親育ちの
まちづくり



子育てを
楽しみたい

- 安心できる育児
- 共同の子育て
- 楽しむ子育て

親子で楽しむ子育て

0~3歳までは、脳が爆発的に成長する時期
【子育て講座】

パパママサロン (年間6回)
父親の参画・共同の子育て

7か月児教室 (年間12回)
「だっこ」「あやし」「語りかけ」のススメ

【情報発信】

子育て支援教室 (年間16回)
「脳科学と教育」の発信
「16か年教育」リーフレットの活用



【子育て教室】
16回、509人

目と目を合わせて
コミュニケーション

2 幼児期 ワクワク子育て

家族のコミュニケーションで、子どもの脳は大きく成長します

コミュニケーション
あふれるまちづくり



ほめられている時の脳の様子
(赤い部分は脳が活性化している)

- 家庭でほめるしつけ
- 笑顔あふれる家庭
- 保護者間での情報交換

いきいき子育て教室

親子で楽しもう



いっしょに遊ぶ

ほめて認める子育て

家庭

笑顔でコミュニケーション



親子でのふれあい
その時その場でほめる

スマホに
頼らない
子育てを!

おすすめ
読み聞かせ
読書



親子のきずなづくり

3 幼児期 イキイキ幼保教育

規則正しい生活で脳が健康に育ちます

脳トレ遊びの
まちづくり



- 集団遊びの推奨
- 基本的生活習慣の確立
- 生活リズムの確立

ふれあいや育ち育ち教育



脳トレ遊び

- ・まわっこ遊び
- ・仲間集め遊び
- ・じゃんけん遊び
- ・リズム遊び
- ・記憶の遊び



早寝 早起き 朝ごはん

確かな学力(脳と学力)

読み書き計算・音読・スピード計算が脳の活性化の重要ポイントです

1 おの検定(学力)

「おの検定」で基礎的な学力が育ちます

脳トレーニングの
まちづくり

- ・すべて市教委が採点します。
- ・「認定シール」「がんばり賞」を発行します。
- ・家庭学習の習慣を育みます。
- ・何度でも再チャレンジできます。
- ・学習支援員を派遣します。
- ・間違いランキングを発行します。

おの検定の成果

全国学力・学習状況調査
(平成19～令和5年度)

★国語科

基礎的な国語の力が
身についています。

★算数・数学科

基本的技能の習得は
良好な状態です。



おの検定 学習支援

- 基礎学力の定着
- 主体的な学び
- 家庭学習の習慣化

家族みんなでチャレンジしよう

2 小中一貫教育

小学校高学年から再び脳が急成長します

小中一貫教育の
まちづくり

10歳の飛躍
学びのつながりを重視し
「自立」をめざす
一貫教育の推進 (H28～)

主体的な学びを進める時期
脳を育てる主体は自分自身

自立

心の成長
学力向上

小学校高学年 教科担任制

児童生徒交流(中学校登校・行事交流)

乗入授業・出前授業

合同教育研究 家庭・地域との交流

キャリア形成を意識し、
地域に根ざした小中一
貫教育を展開します。

知識の土台をつくる時期
脳を育てる主体は親や教師

ポイント

10歳の飛躍



生徒会活動



合同体育

(重点課題)

- ・理数教育の充実
- ・外国語教育の研究



理科教育



外国語活動

「おの検定」・連続性のある学び(学習指導・生徒指導)

1年 2年 3年 4年 5年 6年 7年 (OP1) 8年 (OP2) 9年 (OP3)

脳の成長に応じた学びの一貫性が大切です

3 学力向上

児童生徒主役の授業づくりにより学力向上の取組を進めます

教育研究を進める
まちづくり



(自分の考えを持つ)

- 考えを書く
- 課題学習○ノート
- 授業の予習・復習
- 自主学習

わかる喜び
学ぶ楽しさ

(考えを伝え、学び合う)

- ペア学習
- グループ学習
- 全体学習

説明する
話し合う



小都市型 GIGA School Project

- 学びに向かう力
・人間性等の涵養
- 生きて働く知識
・技能の習得
- 思考力・判断力
・表現力等の育成



めあての共有

主体的・対話的で深い学びの構築

メディア・リテラシー(情報活用能力)の育成

主体的な学びが確かな学力の向上につながります!

ふりかえり



豊かな心(脳と心)

楽しいことや新しいことに挑戦することは感性を育む重要ポイントです

1 心を育むおの検定

読み書き計算やコミュニケーションが豊かな心を育みます

モラルの育ちまじづくり



- コミュニケーション力の向上
- 規範意識の向上
- 社会性の向上

2 不登校・いじめ対策

友だちとの強い絆づくりで元気な心を育てます

ハートフルなまじづくり

未然防止・早期発見・早期対応

小野市全体で支援します

- 月毎の欠席日数のデータ管理と分析
- 不登校対策研修会の実施
- 小中連携不登校対策会議

各学校で支援します

- 不登校の未然防止策
- 不登校生への支援
- サポートルーム

不登校傾向児童・生徒
保護者への支援



教育サポートセンター

小野市ではいじめを許しません!

いじめ防止対策推進法

小野市いじめ等
防止条例

いじめ等
追放宣言都市

- ・各校「いじめ防止基本方針」の策定
- ・いじめ防止全体計画・対応マニュアル
- ・いじめ防止年間指導計画・アンケート

- 不登校生への対応
- いじめ問題の対応
- 学校生活の不安解消
- 児童虐待の防止

教育相談

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・教育サポートセンター

各学校はさまざまな関係機関と連携し、子どもたちをサポートします!

3 特別支援教育

ニーズに応じた支援により個々の能力を伸ばします

みんなが支えるまじづくり

気づき

- R**esearch
- 実態把握
 - 特性の理解
 - 困り感の理解



校内委員会

- P**lan
- 支援内容の検討
 - 支援方法の検討
 - 合理的配慮の確認

個別の教育支援計画
個別の指導計画
(合理的配慮の提供)

- 担任へのアドバイス
- 関係機関との連携
- 合意形成

学校全体の取組

- D**o
- 授業づくり
 - 指導方法の工夫
 - 教材の工夫
 - 学習形態の工夫

- 学級づくり
- 居心地のいい学級
 - 良さを認め合う学級
 - 全員が賞め合う学級

支援計画の評価

- C**heck
- 児童生徒の定容
 - 支援内容方法の評価

支援計画の改善

- A**ction
- 見直し
 - 分析
 - 引き継ぎ



発達障害に関するリーフレット

発達支援室・放課後デイサービス等、社会福祉機関および医療機関との連携支援

健やかな体(脳と体)

「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムが重要ポイントです

1 おの検定(体)

各種検定で基礎体力の向上を目指します

小学校(なわとび検定・水泳検定)・中学校(体力検定)

(市教委で認定証発行) ※水泳検定は平成28年度よりスタート

小学校体育研究会
中学校体育連盟

体力・運動能力の向上
☆中学校 部活動の充実
ガイドライン運用(H30.9~)
☆小学校 陸上・駅伝大会へ
向けた取組、耐寒駆け足等

【おの検定の成果・分析】
小野市の小学生は、男女ともに
巧緻性が優れており、中学
生では男女ともに筋力、持久
力が優れています。

体力アップの
まちづくり

- 基礎体力の向上
- 外遊びや運動習慣の確立
- 運動能力の二極化防止



2 食育推進

バランスの良い朝食は脳を育てます

食育推進の
まちづくり

小野市学校食育推進委員会

市内各・学校の食育推進
○各園・学校における食育指導計画作成
○基本的な生活習慣の確立
○学校独自の授業や体験活動による
食育推進

☆ひまわりカード活用による朝食摂取調査
→子どもたちの生活リズムの確立
☆栄養教諭出前授業(専門的知識の普及)
☆おのっこ座クッキングコンテスト開催

バランスの良い朝食



赤色：魚、肉、卵、牛乳、乳製品
緑色：野菜、果物
黄色：米、パン、麺

令和5年度 第1回「ひまわりカード調査結果」

朝食摂取率	バランスの良い朝食摂取率
全体 ……………92.1%	全体 ……………61.0%
小学校 ……………95.1%	小学校 ……………65.5%
中学校 ……………87.9%	中学校 ……………56.5%
幼稚園 ……………90.2%	幼稚園 ……………58.8%
保育所(園) ……89.9%	保育所(園) ……54.2%

- 生活リズムの確立
(早寝・早起き・朝ごはん)
- バランスの良い朝食摂取の
習慣化
- 睡眠時間の確保

3 生涯スポーツの 推進

スポーツは子どもの心と体を育みます

ハートフルスポーツの
まちづくり

健康づくり

人づくり

仲間づくり

地域づくり

スポーツ活動への支援

指導者の育成
(スポーツ関係団体との連携)

学校 ↔ 家庭 ↔ 地域

地域で育む
おのっ子

- スポーツ少年団の活動
- スポーツクラブ21の活動
- 小野市スポーツ協会との連携
- 各種スポーツ大会の開催
小野ハーフマラソン、フレンドリーカップ
アジャタ大会、ソフトバレー大会等

- 活気あるコミュニティの育成
- 集団遊びの活性化
- コミュニケーションの育成



小野ハーフマラソン



小野フレンドリーカップ引継ぎ大会

脳を鍛え 夢と希望をかなえる学び

子どもを育てる家庭教育

- ◎早寝・早起き・朝ごはん
家庭学習の習慣をつけましょう
- ◎達成感や成就感、自己肯定感を
味わう体験をさせましょう
- ◎目と目を合わせ、親子の
コミュニケーションを
大切にしましょう

16か年教育

母親のおなかに「いのち」が宿る1歳から義務教育修了(15歳)までの16か年を脳の発達にとって重要な時期ととらえ、キャリア形成を意識し、脳の成長に応じた「夢と希望の教育」を展開します。



生きる力の基礎養成期

義務教育第Ⅰ期 1年(小)~4年(小)

生きる力をじっくり育む
「わくわく感」のある意欲的な学び

- ◎学びの基礎の確立期
 - ・反復学習(読み書き計算)
 - ・体験・実感する学び
 - ・学習習慣の確立
- ◎こころの基礎づくり期
 - ・自尊感情・達成感
 - ・自分大好き・友だち大好き
 - ・コミュニケーションの基礎
- ◎基本的な生活習慣の養成期
 - ・早寝・早起き
 - ・バランスのよい朝食
 - ・遊びを通じた体づくり

おとなへの自立期

義務教育第Ⅱ期 5年(小)~7年(小)

「10歳の飛躍」おとなの脳へ発達
「知的好奇心」に基づく主体的学び

- ◎学びの基礎の活用期
 - ・「なぜ?」「どうして?」
 - ・主体的・協働的な問題解決
 - ・学びを実生活につなぐ
- ◎こころの自立期
 - ・心身のおとなへの変容
(自立にむかう反抗期の乗り越し)
 - ・社会的ルールの定着
- ◎生活習慣の完成期
 - ・就寝・起床時刻の固定
 - ・安定した食生活
 - ・主体的な体づくり

夢と希望へむかう自立完成期

義務教育第Ⅲ期 8年(小)~9年(小)

思考力・創造力が大きくアップ
「目標意識」を大切に自立した学び

- ◎学びの発展期
 - ・探究的な学びの充実
 - ・記憶力・創造力を生かす
 - ・学びを実社会につなぐ
- ◎こころの自立完成期
 - ・自己有用感と自他の尊重
 - ・社会の一員としての自覚
 - ・夢につなぐキャリア教育
- ◎生活習慣での自立期
 - ・自ら生活時間をコントロール
 - ・バランスのとれた食生活
 - ・スポーツ・文化交流の奨励

小中一貫教育

めざす15歳の姿を共有し、一貫した系統的な学びの確立

保・幼・小連携

~それぞれの「地域の学校」を大切に、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む~

親子のふれあい期

就学前教育

(マイナス1歳からの乳幼児教育)

脳が急激に成長

- ◎「ことば」と「数」の習得期
 - ・読み聞かせ、数遊びが効果的
- ◎スキンシップで心を育む時期
 - ・ほめて育てる言葉かけと親子のコミュニケーションの充実
 - ・愛情をそそぐふれあいによる自尊感情の育成
 - ・感情を豊かにする五感を育むはたらきかけの充実
- ◎生活リズムの基礎づくり期
 - ・「十分な睡眠」と「しっかり朝ご飯」の推奨

子育て相談

保健センター	63-3977
子育て支援課	63-1645
障害者地域生活・相談支援センター 発達支援室	63-1000 (FAX 641)
児童館(チャイコム)	63-8588
(いじめ・DV等)	
ONO ひまわりほっとライン	62-4110
(不登校支援)	
教育サポートセンター(旧 通商教室)	63-4175